

人がつながり、支え合い、チャレンジし続ける
東部まちづくり

Leading Project のイメージ



2022年度～2024年度

発行 小牧市



あなたは、
東部地域、
好きですか？

私はこのマチ好きだけど
私の子ども達は
ここにずっと住んでくれるかな？



最近
高齢化が急速に進んでる
気がする……



最近
まちに活気がなくなった
気がする？

多様な人々が生活する小牧の東部地域。

ここで生まれた人、

将来に希望を描いてやってきた人、

様々な人生がここで生まれ、

マチと共に歩んできました。

そんな東部地域が今、

たくさんの課題を抱え、悩んでいます。

2022年度に策定された「東部振興構想」は、

課題を希望に変えるための指針です。

ここに、あなたの「好き」を足してあげたら、

このマチは、もっと素敵になるはず。

みんなで協力して取り組む
東部地域のまちづくりに
参加してみませんか。

一緒にまちづくりをやってみない？



一回でも参加してみませんか？

地域の課題は、みんなの課題

まちづくりを自分ごととして捉えることが必要。

だけど、まちづくりって少し面倒。

でも、こんな人口減少が進む時代だからこそ

人のつながりが大事で、人とつながることは

うれしいこと、楽しいこと。

そんな時代に東部地域に関係する人とともに、

先導的に進める取組がリーディングプロジェクト。

こんなリーディングプロジェクトに参加したいと

思う人を増やすため、この冊子をつくりました。

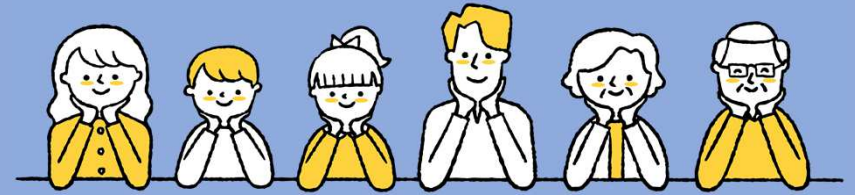
目次

プロローグ・・・・・・・・・・・・・・・・ P1

アクションプランと
リーディングプロジェクトって何？・・・・ P3

東部振興構想、アクションプランと
リーディングプロジェクトの関係・・・・ P4

リーディングプロジェクト・・・・・・・・ P5



アクションプランと
リーディングプロジェクトって何？

東部地域のまちづくりの
取組を見える化したものです。



- Action Planとは、
東部振興構想(2022年度～2031年度)に基づき、
今後、3カ年の取組を毎年まとめるものです。
- Leading Projectは、
東部地域で関係者(住民、事業者、団体、
学校など)とともに、新たに実施する取組のほか、
これまでの取組を組合せ、
プロジェクトとしたものです。

東部地域では、これまで様々な取組が行わ
れています。

そんな取組みや新たに進める取組などを
多くの人に知ってもらい、
参加してもらいたくて、
リーディングプロジェクトを見える化します。

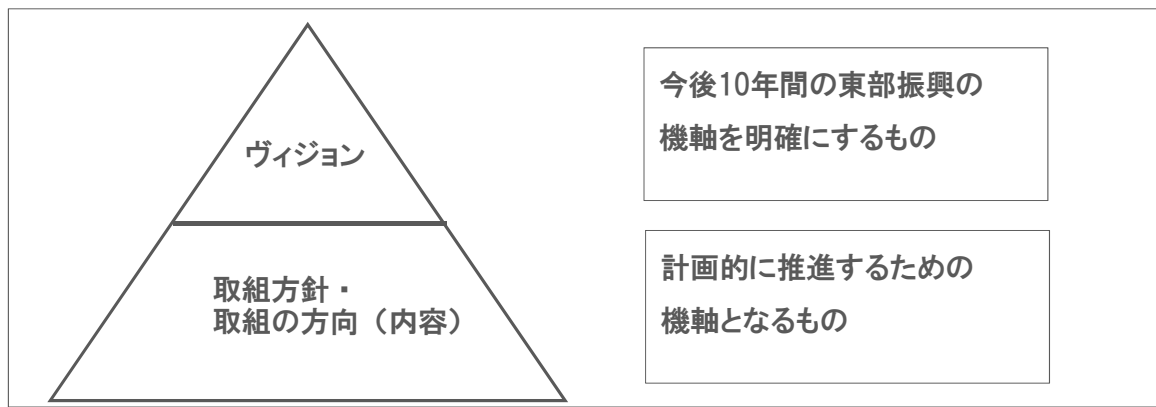




東部振興構想、アクションプラン とリーディングプロジェクトの関係

東部振興構想

★まちの将来像★
豊かな自然と快適な住環境のなかで
人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち



アクションプラン(取組全般)

リーディングプロジェクト

実施中の取組

その他の
新たな取組



アクションプランと東部振興構
想って、なにがちがうの？



構想は、まちを良くするための
「みちしるべ」、
アクションプランは、
「みちしるべ」に沿って進められ
る取組をまとめたものだよ。



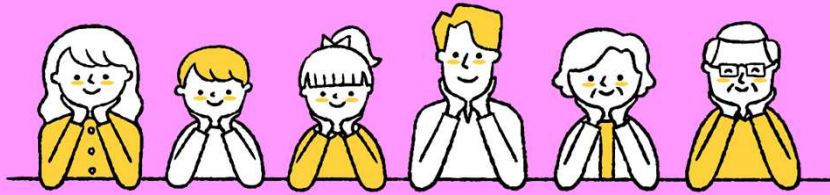
へ～そうなんだ。
でも、アクションプランって
具体的にどんなことがまとめられ
ているのかな？？



アクションプランは、「リーディ
ングプロジェクト」や「実施中の
取組」、「その他の新たな取組」
から成る市が毎年策定する3カ年
のローリング計画だよ。



なるほど！
これをみれば、
今、東部地域で、どんなことが
進められているかわかるってこと
だね！！



リーディングプロジェクト

LEADING

1 人と人がつながるプロジェクト

PROJECT

まちづくりの基盤となるプラットフォームづくりのキックオフとして、東部振興構想策定の際、開催した東部まちづくりワークショップを発展させ、より本格的に取組実施を想定したワークショップを開催します。

LEADING

2 まずはやってみようプロジェクト

PROJECT

人と人がつながるプロジェクトで、具現化したアイデアを実際にトライアルとしてやってみます。そのトライアルには、行政のスタートアップ支援として、市から一部助成を行い、実施します。

LEADING

3 桃でつながるプロジェクト

PROJECT

後継者不足、人手不足の桃農家を支援するため、JA尾張中央が実施するモモサポーター養成講座及びモモサポーター制度を中心に、桃生産に関わる担い手を育成します。さらに、飲食店などの事業者、市民と連携し、商品開発にチャレンジしていきます。このチャレンジは、地産地消・食品ロスの削減にもつながり、しのおか桃ブランドをより価値の高いものにしていきます。

LEADING

4 しのおかPRプロジェクト

PROJECT

東部地域で進められるまちづくりが、多くの共感を得て、活動の輪が拡大・継続していくように、まちづくり活動の記録を行うとともに、SNS等を開設し、地域内外に広く発信します。

人と人がつながるプロジェクト

プロジェクトが目指す成果

★活動指標(R4)★
ワークショップ開催回数 3回

顔見知りを増やすことで、多様な人が地域活動、まちづくりに参加し、いろいろな取組のアイデアが議論され、行動の起点の場がつけられている。

プロジェクトの概要

いろいろな人とつながろう！！



東部地域には、高齢者、子育て世代、子どもも住んでいて、外国人もいます。さらには、事業所もあれば、大学もあります。

顔見知りを増やすことで、自分だけでは達成できない課題でも、みんなで協力すれば達成できるかもしれない。

そんな人と人がつながれる場を、まずは行政が設定します。



地域の人達のために
マルシェみたいなことが
できないかな

WSへ児童・生徒・学生の参加
先生・教授からのアドバイス

WSへの参加
取組の企画



WSへ社員の参加
取組へのバックアップ

WSの運営
メンバー募集

プロジェクトのプロセス

STEP1 もっと多くの人と交わろう

まちにはもっとたくさんの方がいて、いろんな意見を持っている人がいます。新たなメンバーも加えて東部地域の中でどんなことができたらいいか、考えます。

STEP2 東部地域に出てみよう

STEP1で考えたことは地域でどのくらい必要なのか、実際にやろうとしたらどんなことが求められるのか、まちを歩いて、東部地域の人たちの声を聴きながら、イメージを膨らませます。



この場所なら
マルシェができるかも

STEP3 アイディアを磨き、企画のまとめ

何を、いつ、どこで、誰と、どんなふうにするか。その準備にどのくらい時間が必要か。スケジュールを立てながら、みんなで無理なくできる企画提案(交付金申請書)をまとめます。

LEADING PROJECT 2

東部振興構想の位置づけ

基盤 ①-1

基盤 ②-1、2

まずはやってみようプロジェクト

プロジェクトが目指す成果

★活動指標(R4)★
年間のトライアル数 5件

地域の住民や企業、大学、行政などが協力して、
チャレンジしている！！

プロジェクトの概要

失敗をおそれず、やってみる！！

リーディングプロジェクト1で具現化されたアイデアを
実際にトライアルしてみます。

トライアルの費用について、
行政が応援する意味も込めて、
行政からの一定額の助成金をもとに、
チャレンジできる環境をつくります。

【交付金】

上限●●万円 補助率100%



無理せず
やれる範囲から進めましょう

トライアルへの参加
先生・教授からのアドバイス

トライアルの
運営・報告

市民(住民、NPO)

学校

トライアル

企業

行政

トライアルへの
バックアップ

フィールド提供
規制緩和等・財政支援

プロジェクトのプロセス

STEP1 企画提案をしよう

リーディングプロジェクト1でまとめた企画が
スケジュールに無理はないか、かかる費用
は妥当なのか、確認したうえで、市に企画提案書を
申請します。
その後、市での審査を受けたのち、STEP2で必要な
費用の交付を受けます。

STEP2 まずはやってみよう

STEP1で立てた企画を、実際にやってみます。
実施にあたっては、みんなで協力し(役割分担)、
地域の声も聞き(交流)ながら進めます。
また、やって「おしまい」とならないよう、イベント等に参加
してくれた方々の感想をフィードバックしたり、次の取組に
必要なお金を「稼ぐ」という仕組みづくりも併せて考えます。

STEP3 振り返ってみよう

やってみた企画の良かったところ(Keep)、
悪かったところ(Problem)、
次はこうしてみたい！(Try)
について、整理し、
持続的な活動のためには
何が必要か振り返り、
実施報告書を作成し、
報告会を行います。



LEADING PROJECT 3

桃でつながるプロジェクト

プロジェクトが目指す成果

★活動指標(R4)★
養成講座開催回数 1回

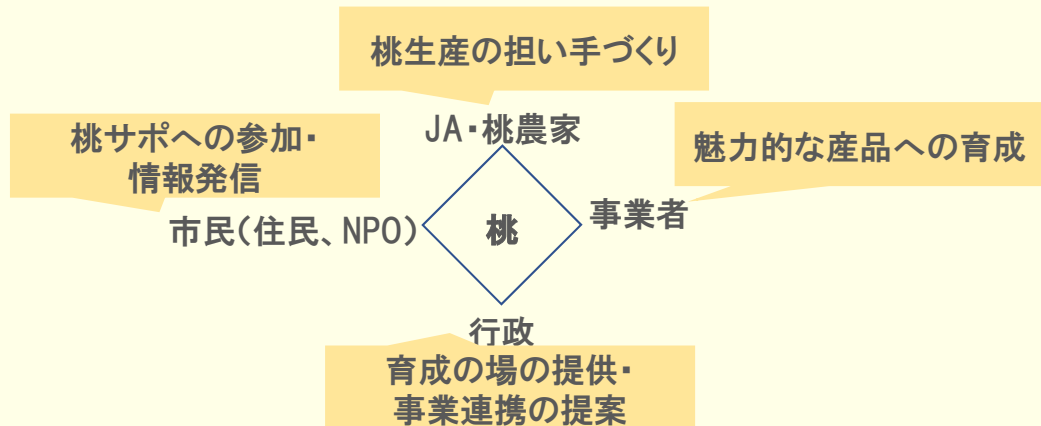
地域特産物の桃を中心に、人の輪が広がり、まちづくりが進められている。

プロジェクトの概要

桃農家を地域で支えて、
桃を起点に東部地域を発展させたい。



桃農家は高齢化の進行、担い手不足など、継続の危機の状況。そんな状況を打開するため、JA尾張中央が進めるモモサポーター養成講座とモモサポーター制度を、さらに広げることで、桃農家を支えます。令和6年10月に供用開始予定の(仮称)農業公園について、桃生産の担い手の育成の場としての活用も併せて検討を進めます。また、大きさや傷などにより、販売できない桃を使用した商品開発などのチャレンジを、地域内のケーキ屋さんや飲食店、地域の住民の皆さんと考えます。これは、地産地消や食品ロス削減への取組ともなり、しのおかの桃の価値を一層高めることにつながります。



東部振興構想の位置づけ

ビジョン1 ①-2

ビジョン1 ②-2

ビジョン1 ③-1、2

ビジョン1 ④-1

ビジョン2 ①-1

ビジョン3 ①-1

プロジェクトのプロセス

STEP1 より多くの担い手を育成しよう！！

地域の特産物である桃を存続させるため、JA尾張中央が実施するモモサポーター養成講座に、地域の若者・元気なシニアが、興味をもってもらうよう広報活動を行いながら、1年間かけて、スペシャリストとなる担い手育成を進めます。

STEP2 桃農家を支えよう！！

育成した担い手にモモサポーター制度に登録してもらうことで、困っている多くの農家とマッチングします。年間を通して、担い手が農家の支援を行います。また、こどもと農家のマッチングを行うことで、こどもへの地元愛を育むことも進めます。

STEP3 桃をさらに魅力的に！！

地域内の飲食店・ケーキ屋やパン屋、お菓子工場などと協力し、大きさや傷などにより販売に至らない桃を使用し、しのおかの桃をさらに魅力的な産品に育てるため、市民も巻き込んだ商品開発チャレンジなどの実施を検討します。また、この取組は地産地消や食品ロス削減に寄与するよう企画を構築します。



LEADING PROJECT 4

しのおかPRプロジェクト

プロジェクトが目指す成果

★活動指標(R4)★
まちづくり活動の記録数 6件

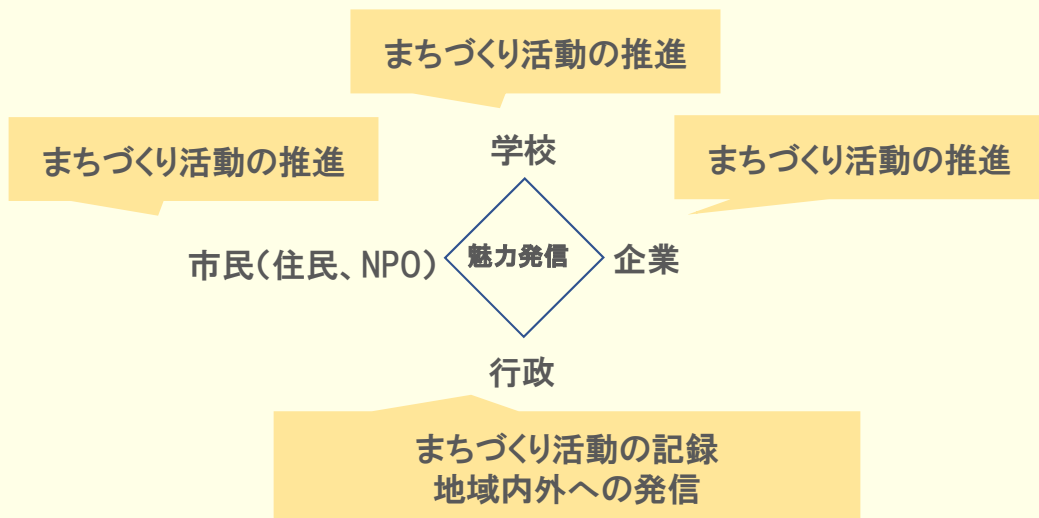
東部地域の魅力やブランドが市内外に広く知られ、若い人が住み続けたいまち、訪れたいまちになっている。

プロジェクトの概要



しのおかタウンプロモーションを進めます。
東部地域で進められるまちづくりが、多くの共感を得て、活動の輪が拡大・継続していくように、内外の人に伝えていきます。

東部地域の価値ある資源はもちろん、住民による様々なチャレンジが、多くの人から魅力として共感されることで、地域で暮らしたい、地域を訪れたいと思うきっかけとなります。
東部地域のまちづくり活動や活動する住民のすがたを、地域の魅力として内外に情報発信するタウンプロモーションを進めます。



東部振興構想の位置づけ

ビジョン1 すべて

ビジョン2 すべて

ビジョン3 すべて

プロジェクトのプロセス

STEP1 まちづくり活動の記録化

リーディングプロジェクト2や3で再発見・再認識した地域の魅力や、その魅力を活かした活動を、多くの人に知ってもらえるように動画や映像として記録します。

STEP2 情報発信ツールの開設

STEP1でストックしたコンテンツをもとに、住民がチャレンジを楽しみながら、魅力的で持続可能な暮らしができる地域となっていくすがたを伝えるため、SNSなどの情報発信ツールを開設します。また、地域で展開されるまちづくり活動を、住民が認知できるように、ロゴを作成します。

STEP3 地域内外への情報発信

地域内外に広く情報発信します。
ロゴについては、まちづくり活動を行う住民に積極的に使用してもらい、東部まちづくりに対する認知と住民の帰属意識を高めます。



■ 東部振興構想と各リーディングプロジェクトの関係図

